



「コロナに負けない、『思いやり』『謙虚』『寛容さ』を大切に」

長く続くコロナ禍の中で、本校の児童や保護者もつらい状況に置かれています。

社会全体でも、感染した人や、感染した人とかかわりがあった方

そういう人たちへの、差別や偏見、中傷が起きています。

今、大切なのは、相手への「思いやり」

自分自身の「謙虚」な気持ち

そして、様々な出来事に対する「寛容さ」ではないでしょうか。

コロナ差別が起きた一昨年に、愛媛県の有志の方たちが

愛媛特産の柑橘にちなんで、シトラス色（黄緑）のリボンを身に付けて

「ただいま」「おかえり」と言い合える、優しいまちにする「シトラスリボンプロジェクト」
という活動をしています。私と副校長も、名札に付けています。

（足立区もこの活動を推奨しています）

校長 出水 典克

